

『館野泉 左手の音楽祭 2012-2013』

館野泉 & ラ・テンペスタ室内管弦楽団 (フィンランド) 77歳のピアノ協奏曲

Izumi Tateno & Chamber Orchestra La Tempesta

ピアノを、左手で演奏するという新たな視点からとらえたとき、日本の音楽界に新しい歴史がはじまりました。館野泉の左手から生まれた左手ピアノ音楽の集大成「館野泉フェスティバル〜左手の音楽祭」は、ついに完結！感動のフィナーレ！

11/4 2013.
[月/振替休日]

15:30 開場 16:00 開演

山形テルサホール



指揮
野津如弘



ヴァイオリン・ソロ
ヤンネ 館野

ヴィヴァルディ

四季

A. Vivaldi : *Four Seasons*

(ソリスト：ヤンネ館野)

グリーグ ホルベルク組曲

吉松 隆 NHK大河ドラマ「平清盛」より
遊びをせんとや・海鳴 (ピアノ・ソロ)

吉松 隆 左手のためのピアノ協奏曲
「ケフェウス・ノート」op.102

全席指定

[] 内は当日料金

S席 6,000円 [6,500円]

A席 5,000円 [5,500円]

B席 4,000円 [4,500円]

※チケットの発売日・販売店・お問合せは裏面へ

左手は、ピアニストの命であり、
音楽の核心である



Photo: 武蔵 章 Festival 2012-2013

【主催】NPO法人Mプロジェクト・山形テルサ・山形市・一般財団法人山形市都市振興公社

【後援】フィンランド大使館、館野泉ファンクラブ東北、(公社)山形交響楽協会、山形市教育委員会、山形新聞・山形放送、読売新聞山形支局、朝日新聞山形総局、毎日新聞社山形支局、VigoFM78.8MHz

館野 泉

(たてのいずみ・ピアノ)

1936年東京生まれ。60年東京藝術大学首席卒業。64年よりヘルシンキ在住。68年メシアン・コンクール第2位。演奏会は世界各地で3500回以上、リリースされたCD・LPは130枚にのぼる。81年よりフィンランド政府の終身芸術家給与を得て演奏活動に専念。96年外務大臣表彰受賞。人間味溢れ、豊かな叙情をたたえる演奏は、世界中の幅広い層の聴衆から熱い支持を得る。02年脳出血により右半身不随となるが、不屈の精神で04年「左手のピアニスト」として復帰。その左手のために第一線で活躍する作曲家より数多の作品が献呈される。06年「シベリウス・メダル」授与。同年左手作品の充実を図るため「館野泉左手の文庫(募金)」を設立。08年旭日小綬章受章、文化庁長官表彰受賞。2010年演奏生活50周年を迎え各地で記念公演を行なう。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」テーマ曲のソリストをつとめ、ウィーン、ハンガリー、フランス、エストニア、ヘルシンキ、モンゴル、ベルリンにて海外公演を行う。2012年度東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞(旧エクソンモービル音楽賞)受賞。昨年5月からスタートした左手ピアノ音楽の集大成「館野泉フェスティバル〜左手の音楽祭」は、今年11月『77歳のピアノ協奏曲』でラ・テンペスタ室内管弦楽団とともに日本ツアーし、フィナーレを迎える。

著書「ピアニストの時間」(みすず書房刊)ひまわりの海(求龍堂刊)、楽譜「左手のピアノシリーズ」(音楽之友社)を出版。最新CDはエイベックス・クラシックスよりリリース。南相馬市民文化会館(福島県)名誉館長、日本シベリウス協会会長、日本セヴラック協会顧問、サン＝フェリクス＝ロウラゲ(ラングドック)名誉市民。

東京オペラシティで「館野泉フェスティバル〜左手の音楽祭」最後の演奏会が開催される11月10日に、館野泉は77歳を迎える。
館野泉公式HP <http://www.izumi-tateno.com>

野津 如弘

(のつ ゆきひろ・指揮)

1977年、仙台市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。東京藝術大学楽理科を経て、日本人として初めてフィンランド国立シベリウス音楽院指揮科に入学。レイフ・セーゲルスタム、ヨルマ・パヌラの両氏に師事。同修士課程最高位を得て修了。マスタークラスにおいてサー・コリン・デイヴィス、ベルナルト・ハイティンク、ネーメ・ヤルヴィ諸氏に学ぶ。フィンランド放響、トゥルク・フィルハーモニー管、クオピオ響、セイナヨキ管などフィンランドの主要オーケストラに客演。現在、愛知県立芸術大学及び常葉学園大学非常勤講師。日欧間の文化交流における活動は「EU・ジャパンフェスト日本委員会」により支援されている。

ヤンネ 館野

(やんね たての ヴァイオリン)

1975年フィンランド・ヘルシンキ生まれ。

88年サマーミュージックキャンプにてエストニアのヴァイオリニスト ユリ・ゲレッツに師事しヴァイオリニストになることを目指す。92年〜93年 オーストラリア・メルボルンにてジュリアン・クイリットに師事。その後ヘルシンキ音楽院にてシルッカ・クーラー＝ニスカネン、オルガ・パルホメンコ、シカゴ芸術音楽学院にて森悠子に師事。ジェルジー・ゲベルトより室内楽を、デビット・シュレーダー、エリザベス・ブルメンストックよりバロック音楽を学ぶ。98-07年オウルンサロ音楽祭(フィンランド)、08-10年セヴラック音楽祭(フランス)に出演。05年丹波の森国際音楽祭シュールベルティアーデたんばのシンボルアーティストとして招聘されて以来毎年出演。現在は、ヘルシンキを拠点とするラ・テンペスタ(La Tempesta)室内管弦楽団のコンサートマスター、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子主宰の長岡京室内アンサンブル、Tangueros Polares(タンゲロス・ポラレス)、Tangueros Árticos(タンゲロス・アティコス)での出演、また東北、東京、関西を中心に日本各地でのソロ、室内演奏会など、フィンランドと日本、二つの祖国において幅広い活動を展開。07年オウルンサロ音楽祭(音楽監督・館野泉)の日本版をプロデュース。2011年東京エラート室内管弦楽団とモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第3番を共演し「豊穣な音色、流麗な音楽運び、優美で気品に満ちたモーツァルト」「音色と歌心と技巧の三拍子揃った快演」と音楽誌上にて高く評価される。京都在住。

ラ・テンペスタ室内管弦楽団

(コンサートマスター：ヤンネ館野)

97年にヘルシンキ音楽院の学生を主要メンバーとして創立された実力派の室内管弦アンサンブルで、メンバーは、現在ヨーロッパや日本のオーケストラに所属し、音楽大学等で教鞭をとっている。レパートリーはバロックからコンテンポラリー、アルゼンチン・タンゴまで偏見なく幅広い。日本の作品にも積極的に取り組み、吉松隆「ケフェウス・ノート」ノルドグレン「左手のためのピアノ協奏曲」をフィンランドで初演している。オーケストラであっても演奏においては「室内楽の精神」をモットーとしており常任指揮者はおいていない。活動の範囲も広く、フィンランド室内オペラ、シベリウス・アカデミー、オストロボスニア室内管弦楽団等と共演、国内外の音楽祭にも参加している。98年より館野泉が音楽監督をつとめた「フィンランド・オウルンサロ国際音楽祭」にはレジデンス・オーケストラとして毎年招かれ、その演奏とともに、音楽づくりへの純粋真摯な姿は各方面に大きな感動をもたらした。オウル市創立400年演奏会にも出演。エネルギーで透明感あふれる演奏には定評があり、指揮者や共演者から絶大な評価と深い信頼を得ている。今回は2005年以来2回目の待望の来日公演である。

全席指定 []内は当日料金

S席 6,000円 [6,500円]

A席 5,000円 [5,500円]

B席 4,000円 [4,500円]

発売日

◆テルサメンバーズクラブ・賛助会員
先行予約開始日
7月2日(火)〜7月11日(木)

◆一般発売
7月15日(月)

プレイガイド

山形テルサ・富岡本店・十字屋山形店
TENDO八文字屋

※未就学児のご入場はご遠慮願います。なお、当日は、2〜5歳のお子様をお預かりする「無料キッズルーム」を開設いたします。10月31日(木)までに、山形テルサにお申し込みください。※お越しの際は、できるだけ公共の交通機関をご利用下さい。また、お車で越しの際は、近隣の駐車場をご利用下さい。



館野泉 左手の音楽祭 日本公演 2013

11月3日(日)
福島 南相馬市民文化会館(ゆめほっと)

11月4日(月・振替休日)
山形 山形テルサ

11月6日(水)
大阪 いずみホール

11月8日(金)
愛知 長久手市文化の家(森のホール)

11月10日(日)
東京 東京オペラシティコンサートホール

<山形公演お問合わせ>

Mプロジェクト 090-5234-1223(木村)

山形テルサ 023-646-6677